

【注意事項】

- 注意 1 本会議のレジュメは、11 月祭公式 Web サイト（<https://nf.la>）に掲載されております。ユーザー名およびパスワードは、事前に連絡したものをご利用ください。
- 注意 2 本会議のミーティングの URL やパスワード、レジュメ掲載ページのユーザー名やパスワードなどを他者に共有する行為は行わないでください。
- 注意 3 発言を希望する際には挙手をしてください。議長が発言者を指名するので、指名されてから発言してください。
- 注意 4 発言時には、企画名あるいは団体名と、氏名を述べるようにしてください。議事録作成中は、発言者を企画名あるいは団体名、氏名で記録しますが、閉会後に議事録が共有される際には、委員長および全学実行委員会内の組織、全学学生自治会同学会内の組織を除いては、アルファベットなどで置換します。
- 注意 5 本会議の円滑な進行を妨害する行為が確認された場合、当該行為を行った者に対して、委員長が退場を命じることがあります。
- 注意 6 本会議において、会議参加者に無断で録画・録音する行為は禁止されています。
- 注意 7 議決・承認は、対面参加者は拍手で行います。
- 注意 8 議決・承認後に離席者からの意見があれば、受け付けるものとしますが、その扱いについては個別に判断します。

【zoom 参加者】

- 注意 9 表示名は、「企画名_氏名」あるいは「団体名_氏名」としてください。
- 注意 1 0 発言時以外は、マイクをミュートに設定してください。
- 注意 1 1 議決・承認は、Zoom の「手を挙げる」機能を使用して行います。
- 注意 1 2 議決・承認において、離席者が存在するために会議参加者の一部または全部からの応答が得られない場合には、応答がない者を除いて議決・承認を行います。ただし、議決・承認後に、当該離席者からの意見があれば、受け付けるものとしますが、その扱いについては、個別に判断します。
- 注意 1 3 本会議は、本日 20:30 には、閉会します。

第3回 議事録

開会時刻 18:30

閉会時刻 19:33

委員長 開会する。注意事項読み上げ。

委員長 議事案について話し合う。

事務局 「全学実行委員会への提案」と書かれたレジュメを参照。

委員長 議事案について承認をとる。
(承認)

委員長 提案された議事の通りに進行する。

委員長 議事(1)に移る。

事務局 レジュメの2番を参照。前回の全学実で提案したものについて、前回の最後に述べた通り提案を取り下げる。入稿制限の可能性が高いこと・企画構成員への負担を理由として提案した。しかし、前回の全学実での意見として後から制限を加えた方が良いという意見を踏まえ、提案を取り下げた。事務局内で再度検討した結果、コロナ禍以前と同じ範囲での企画登録を行うこととなったので報告する。

委員長 何か意見はあるか。

委員長 なければ、次の議事に移る。

事務局 レジュメの3番を参照。前回の全学実行委員会で承認された要望書について、厚生課課外活動掛に要望を出した。大学当局からの返答はレジュメの通りである。

委員長 以上の内容について、異議・質問はあるか。

委員長 ないようなので、次の議事に移る。

事務局 別紙声明文案を参照。前回の要望書をベースとして作成した。声明文内容読み上げ。

委員長 以上の内容について、異議・質問はあるか。

A 先程の話(3番)であるが、大学担当者の「今までもそうであったし～」とあったが、話し合いを求めるといった内容の要望書に対しての返答であった。要望書を持って行ったときの大学側の姿勢を知りたい。早めに日程変更を伝えるという意味なのか、話し合いにも応じるという意味で言っているのか。

事務局 大学側の担当者に確認しないとわからないが、後者の意味合いもあるのではないかと思う。話し合いをしても良いけど、変更される可能性は低いということであるので、話し合いにお応じないということではないと考える。

A つまり、要望を聞かないかもしれないけど、話し合いはするかもしれないという意味で言っている可能性があるということか。実際に行った人がいるならば、聞きたい。

事務局 大学側には大学側の理由があり、その部分を覆すのが難しいということだと思う。質問に対して向き合っていくという意味と捉えられるかもしれないが、詳しくはなんとも言えない。

委員長 議事案(2)について、何か意見・質問のある方はいるか。

委員長 特になければ、別紙の声明文案について何か意見のある方はいるか。

委員長 承認に移りたいが、声明文の内容及びパンフレットに掲載することについて承認を取ると

いうことか。

事務局

パンフレット掲載についても承認を取りたいと考える。

委員長

声明案の内容及びパンフレット掲載に承認される方は挙手または拍手を。

(承認)

委員長

次の議事に移る。

事務局

レジュメの5番を参照。第65回11月祭の日程について大学側から日程の変更をしたいという連絡があった。大学側からは11/22~11/25の日程が伝えられた。理由は昨年と同じく曜日振替であった。事務局としては、話し合いの場を設けたいと考えている。

委員長

異議・質問はあるか。

B

要求するものについてはどのようなものを想定しているのか。

事務局

具体的には、対面での話し合いを行い、休講日を調整してもらえないか協議したいと考えている。

B

参加人数の制限を設けることなどはしないのか。

事務局

事務局側からする予定はないが、大学から求められる可能性はあると考えている。

委員長

他に異議・質問はないか。

A

交渉期間としては、どのくらいを考えているのか。交渉期限などはあるのか。大学側がアカデミックカレンダーを発表する日時にもよるのか。

事務局

大学からはアカデミックカレンダーの作成は作り始めており、発表は夏とのことである。期間的には厳しいが、粘り強く交渉に取り組んでいきたい。

A

去年も夏に第64回の分を発表していたということか。昨年度変更の話が事務局にあったのは春であった。

事務局

アカデミックカレンダーの発表日時についてであるが、詳しい日程はわからないが夏であると考えている。

A

事前に話を通すというのは嘘であったのか。3月に事務局に話があった。3月の時点で次年度のアカデミックカレンダーを発表するのは遅い。大学当局は前段階で日程変更を決めていたのではないか。要望書の内容では、「検討段階で伝える」とあった。

事務局

相談を受けたのは、2021年3月である。

A

今年の3月と勘違いしていた。嘘はついていなかった。

A

単純な質問であるが、2年前の全学実でこの日程に決めた理由は何なのか。Finaleを日曜にしたいということか。

事務局

日曜日が祝日が望ましいが、その通りにいかない場合もある。

C

第65回の日程変更要請があったのはいつか。

事務局

確認を受けたのは先週の木曜日である。

C

去年は3月であったが、今回は6月ということで理解した。

事務局

大学側に確認したところ、今年は単純に検討時期が遅かったからということであった。

D

質問であるが、アカデミックカレンダーを作成している部署はどこか。事務局が交渉している部署とアカデミックカレンダーを作成している部署を教えて欲しい。

事務局

教育推進・学生支援部厚生課 課外活動係と交渉しているが、アカデミックカレンダーの作成部署は把握していない。

D

交渉方針をこれから話し合うと思うが、アカデミックカレンダーを作成している部署を聞

くべき。早い段階から検討すべきだと伝えるべきである。

事務局 その通りであるので、交渉の際にはそのように伝えようと思う。

E 大学側から提案された日程について、実務的にどれほど支障があると考えているか。

事務局 実務的には問題ないが、全学実で採択された日程を優先すべきだと考えている。

E 全学実を優先するのは重要なことであると思うが、それだけを理由に大学側と揉めると今後の交渉で不利になるのではないかと感じた。

D 月曜日の振替が多いという理由で変更を要請されているが、単位の実質化のような国や大学の方針をもとに行われているためだと考えている。このようなことを理由に学生主体である 11 月祭に干渉してくることを認め過ぎると、大学管理を推し進める要因になりかねない。基本的には、全学実で決めた日程を推進していくべきである。消極的に大学の提案を受け入れるという姿勢になってはならない。学生の自主性という側面で 11 月祭を作っていくべき。

A 先ほど、なぜこのような日程にしたのか聞いたが、E の話はここに関わってくると思う。この日程で開催する意義を言っていくべきである。日程的には全学実案の方が盛り上がるということが良いか。

事務局 全学実で採択された日程であれば、3 日間休日と被っている。大学側の提案では休日が 1 日減っている。この点についても大学側に伝えていきたい。

A 全学実でも先ほど事務局が挙げた意義で一致できるので、全学実の意見として学生の自主性を重要視していると伝え、交渉していくべき。

D 事務局はこの議論を受けて、どのような方針で交渉していくのか。前回の全学実から今回に至るまで、このレジュメに上がっている内容以外で大学当局と交渉した内容があれば共有してほしい。

事務局 1 つ目に対して。曜日配置の面から日程の意義深さを強調した上で、学生の自主性を尊重していると伝えて交渉していきたいと考えている。

F この日程で開催する意義についてであるが、休日が減る・学生の自主性が重要であるという点と、日曜日が地域住人的にも学生的にも参加人数が最も多いことを理由にすべきである。

事務局 その点も重要であると考えるので、根拠として取り入れていきたい。

委員長 D の質問の 1 点目について、他に意見はないか。

委員長 2 点目について 11 月祭事務局は何かあるか。

事務局 先週の木曜日に連絡を受け、この 1 週間の間では曜日振替やアカデミックカレンダーの作成日程について尋ねた。それ以外は特に何も交渉していない。

委員長 他に質問・意見はあるか。

委員長 特にないようであるので、この議題については終わる。

D 次回以降の全学実の開催についてであるが、学友会の教室貸し出し制度を利用して対面で行っていききたい。大学のガイドラインの規制が緩和されたので共有しておく。

事務局 教室貸し出しに感謝している。次回以降も対面で開催していきたい。

委員長 他に質問・提案はあるか。

委員長 全体を通して何かあるか。

D 未定であれば良いが、次回の全学実の開催予定があれば教えてほしい。今後の教室貸し出しの都合的にも早めにわかっておいた方が借りやすいため。

事務局 確定していることとして、統一テーマに関する内容が８月頭にある。第 65 回の日程話し合いについての経過報告を 7 月のテストに被らない時期に行うことを考えている。

委員長 何もないようであれば、議事録の承認に移る。異議・質問はないか。

(承認)

委員長 他に何かあるか。

委員長 閉会する。